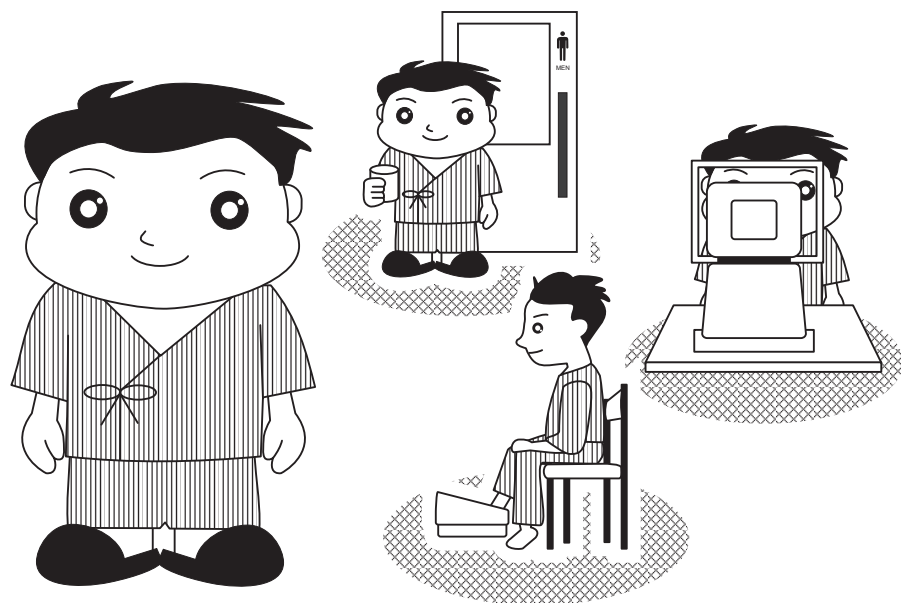
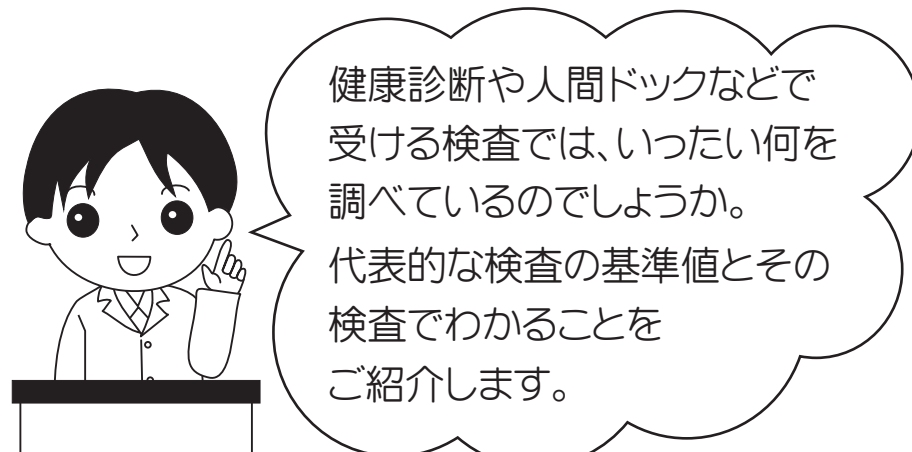


検査値を知ろう②



検査値を知ろう



宣言

明るい笑顔 すぐ返事 伝える元気

かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ

◎ご注意◎

- ・ 現在、医療機関を受診されている方は、かかりつけの医師の指示に従ってください。
- ・ 基準値は検査機関によって異なることがあります。
- ・ 基準値は健康かどうかを示す目安であり、病気を診断する診断基準値とは異なります。



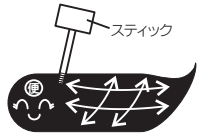


大腸がんの可能性を調べる検査

胃や腸などの消化管に出血があっても、ある程度の出血量がなければ、便を見てもわかりません。便潜血反応は、目には見えないわずかな出血を検出するための検査です。

・便潜血反応

診断結果	疑われる病気や原因
陽性(+) 出血あり	食道がん・胃がん・胃潰瘍・歯肉出血・鼻出血が消化管に流れたもの・小腸潰瘍・大腸がん・大腸ポリープ・大腸炎・クローン病・白血病など
陰性(-) 出血確認されず	特になし



<この検査でわかること>

消化管の出血性の病気、とくに大腸がんのスクリーニング(ふるい分け)検査として広く実施されています。



前立腺がんの可能性を調べる検査

PSA(前立腺特異抗原)とは前立腺のみでつくられる糖たんぱくで、前立腺に異常がある場合、値が高くなります。ただし、PSAは「前立腺肥大症」などでも上昇するので、この検査だけでは前立腺がんの診断は行いません。

・PSA検査

検査値(ng/ml)	疑われる病気や原因
10.0 以上	前立腺がん・ 前立腺肥大症
4.1~9.9	
基準値 4.0以下	

<この検査でわかること>

基準値以上の場合は前立腺の異常が疑われるため、さらに詳しい検査が行われます。



腎臓や尿路の状態を知る検査

尿中のたんぱくの有無を調べる検査です。

尿は血液中の不用物や老廃物が腎臓で濾過されたものです。血液中のたんぱく質も腎臓で濾過されますが、再吸収されほとんど尿中に出ることはありません。しかし、腎臓や尿路に何らかの異常があると尿たんぱくが現れます。

・尿たんぱく

検査値(定性)	疑われる病気や原因
高↑ 強陽性(2+以上)	腎臓障害・ 尿路疾患
陽性(+) 弱陽性(±)	
基準値 陰性(-)	

<この検査でわかること>

検査の結果が「+」以上の場合は陽性となり、再検査でも陽性の場合、腎臓や尿路の異常が疑われます。



尿路からの出血の有無を調べる検査

尿中に赤血球が潜在していないかを調べる検査です。尿に赤血球が出るとい現象は、尿の通り道にあたる様々な器官に異常があると起こってきます。

・尿潜血

検査値(定性)	疑われる病気や原因
高↑ 強陽性(2+以上)	尿路結石・膀胱炎・ 腎臓疾患・ 尿路疾患
陽性(+) 弱陽性(±)	
基準値 陰性(-)	

<この検査でわかること>

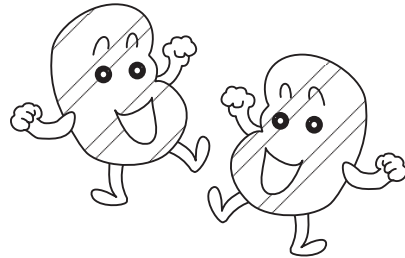
採取した尿に試験紙を浸し、反応を見る検査です。試験紙に反応があれば、尿の通り道のどこかに炎症などが起きていることを示します。

腎機能を評価する検査

腎臓の機能が悪化し、老廃物を排泄する能力が低下すると、体内で使われたたんぱく質の老廃物が体の中に残ります。ここでは血液中にある老廃物を測定し、腎機能を評価します。

・尿素窒素(BUN)

検査値(mg/dl)	疑われる病気や原因
30以上	腎機能障害・消化管出血・ 発熱・脱水・高たんぱく食
21~29	
基準値 8~20	
7以下	肝機能不全・低たんぱく食



<この検査でわかること>

腎臓の機能が悪化していると、体内で使われたたんぱく質の老廃物(尿素窒素)の値は上昇します。

ただし、尿素窒素は脱水や発熱で腎臓での水分の再吸収が増したり、たんぱく質を多く摂り過ぎた時にも、腎臓が悪くなくても高値になることがあるので、クレアチニンの値と比較しながら検討します。

・クレアチニン(Cr)

検査値(mg/dl)	疑われる病気や原因
男性 1.5 以上 女性 1.2 以上	腎機能障害・心不全・ ショック
男性 1.2~1.4 女性 0.9~1.1	
基準値 { 男性 0.5~1.1 女性 0.4~0.8	
基準値下限未満	筋肉疾患・寝たきり

<この検査でわかること>

クレアチニンとは、アミノ酸の一種であるクレアチンが代謝された後の老廃物です。腎臓で濾過されて尿中に排泄されます。血液中のクレアチニン数値が高い場合、腎臓機能が低下していることを示します。低い場合には、筋肉にかかわる異常を想定します。

血液中の赤血球数をみる検査

赤血球の数とは、静脈を流れる血液1 μ l(マイクロリットル)中の数を言います。赤血球は肺で受け取った酸素を全身に運び、体内で発生した二酸化炭素を回収して肺に放出する「ガス交換」を行っています。

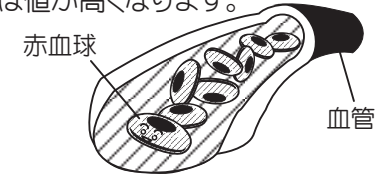


・赤血球数(RBC)

検査値($\times 10^9$ 個/ μ l)	疑われる病気や原因
男性 6.00 以上 女性 5.50 以上	真性多血症・ ストレス・喫煙
男性 5.51~5.99 女性 4.81~5.49	
基準値 { 男性 4.10~5.50 女性 3.80~4.80	
男性 3.80~4.09 女性 3.50~3.79	貧血・腎不全・ 臓器からの出血など
男性 3.79 以下 女性 3.49 以下	

<この検査でわかること>

血液中に赤血球がどれくらいあるのかを調べる検査です。基準値より少ないと貧血症の疑いがあり、逆に多すぎると多血症の疑いがあります。喫煙者は値が高くなります。



血液中の白血球数をみる検査

白血球は主に細菌などの異物から体を守る働きをしており、体内に炎症が起きると数が増えます。ただし、炎症があまりに進行すると異常に減少することもあります。

・白血球数

検査値($\times 10^9$ 個/ μ l)	疑われる病気や原因
12 以上	細菌感染症・喫煙・ がん・ストレス
8.6~11.9	
基準値 4.5~8.5	
2.5~4.4	ウイルス性感染症・ 再生不良性貧血
2.4 以下	

<この検査でわかること>

白血球数からは炎症、腫瘍があるかどうか、感染症にかかっているかなどがわかります。



組織の炎症・破壊を探知する検査

CRP(C反応性たんぱくの略)は、体内での炎症反応や組織が破壊された際に血中に現れるたんぱく質です。炎症マーカーとしてよく利用される検査項目です。

・CRP

検査値(mg/dl)	疑われる病気や原因
1.0以上	感染症・膠原病・がん・ 外傷・炎症
0.4~0.9	
基準値 0.3以下	

<この検査でわかること>

血液中の値を調べれば、体内で炎症や組織の破壊が起きているかどうか、その炎症程度を敏感に反映する事ができます。



赤血球が血液で沈む速さをみる検査

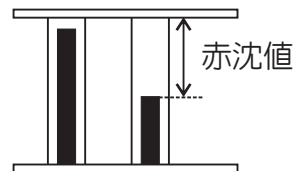
赤沈(赤血球沈降速度の略)とは血液中の赤血球が試薬内を沈むスピードを検査します。赤血球数と血漿中に含まれるたんぱく質の成分によって速く(値が高く)なります。CRP検査と組み合わせて炎症をともなう病気の評価をします。

・赤沈(赤血球沈降速度)

検査値(mm/時間)	疑われる病気や原因
30以上	貧血・感染症・膠原病・ がん・血漿たんぱく増加
基準値上限超~29	
基準値 { 男性 2~10 女性 3~19	
基準値下限未満	多血症・DIC・脱水

<この検査でわかること>

検査結果からは、主に炎症をともなう病気の有無や程度がわかります。ただ赤沈は基本的なスクリーニング検査であり、体のどの部分に異常があるのかはわかりません。



骨粗しょう症の検査

骨量から「骨密度」を算出します。骨密度は骨の強度に比例します。骨密度が低く、骨がもろくなっていると、少しの力が加わるだけでも骨折する危険性があります。

・骨密度

検査値(%)	疑われる病気や原因
基準値 80以上	
70~79	骨量減少
69以下	骨粗しょう症

<この検査でわかること>

骨量減少の範囲内でも、骨密度減少による骨折があれば、骨粗しょう症と診断されます。

骨量を調べて骨密度を算出し、20~44歳の人の平均骨密度の何%に相当するかを調べます。



眼球内圧を調べる検査

眼球は、角膜や水晶体に栄養や酸素を送る「房水」という液体によって圧力が一定に保たれており、房水の生産量と流出量のバランスにより、圧力が変化します。この圧力を「眼圧」といい、これを測定するのが眼圧検査です。

・眼圧

検査値(mmHg)	疑われる病気や原因
22以上	高眼圧症・緑内障
基準値 7~21	
7未満	網膜剥離・外傷・脱水・ 虹彩毛様体炎など

<この検査でわかること>

基準値より眼圧が高いと緑内障が、低いと網膜剥離などが疑われます。ただし、基準値内でも緑内障を発症することがあります。

